

## 富士箱根伊豆国立公園 主な沿革

大正8年(1919)	箱根湯本―強羅間で箱根登山鉄道が開通する
昭和4年(1929)	大月―富士吉田間で富士急行が開通する
昭和6年(1931)	国立公園法が制定・施行される
昭和7年(1932)	富士山頂で通年での気象観測が開始される
昭和9年(1934)	箱根仙石原湿原植物群落が国の天然記念物に指定される
昭和11年(1936)	富士箱根国立公園が指定される
昭和27年(1952)	富士山が特別名勝に指定される
昭和30年(1955)	箱根地域に国の管理員が配置される 伊豆半島地域が編入され、富士箱根伊豆国立公園と名称変更される 大島空港が開場、東京―大島の定期便が運航開始する
昭和34年(1959)	箱根町の早雲山と大涌谷を結ぶ箱根ロープウェイが開通する
昭和36年(1961)	伊東―伊豆急下田間で伊豆急行線が開通する
昭和37年(1962)	箱根峠と湖尻峠を結ぶ芦ノ湖スカイラインが開通する 富士箱根伊豆国立公園管理事務所が開設される
昭和38年(1963)	箱根町芦ノ湖東岸に駒ヶ岳山頂に至る駒ヶ岳ロープウェーが開通する
昭和39年(1964)	富士箱根伊豆国立公園に伊豆諸島地域が編入される 富士山山梨県側の登山道五合目に至る富士スバルラインが開通する 伊豆半島東部に熱海峠と天城高原を結ぶ伊豆スカイラインが開通する
昭和40年(1965)	富士山測候所の気象レーダーが稼働される
昭和41年(1966)	箱根町湖尻地区に箱根ビジターセンターが開館する
昭和45年(1970)	富士山富士宮口五合目に至る富士山スカイラインが開通する
昭和46年(1971)	環境庁が発足する
昭和47年(1972)	御殿場市と湖尻峠を結ぶ箱根スカイラインが開通する
昭和60年(1985)	国立公園に自然観察を行うパークボランティアの導入がはじまる
平成元年(1989)	箱根仙石原で野焼きが再開される
平成4年(1992)	伊豆諸島八丈島に八丈ビジターセンターが開館する
平成6年(1994)	富士スバルライン及び富士山スカイラインのマイカー規制が始まる
平成8年(1996)	箱根ビジターセンターの建て替えが行われる
平成10年(1998)	富士河口湖町船津に山梨県立富士ビジターセンターが開館する 山梨県、静岡県が富士山憲章を制定する
平成12年(2000)	富士宮市の田貫湖畔に田貫湖ふれあい自然塾が開館する
平成13年(2001)	環境省が発足する
平成17年(2005)	富士山山頂に環境省が環境配慮型公衆トイレを設置する
平成18年(2006)	富士山山小屋の環境配慮型トイレの整備が完了する
平成22年(2010)	伊豆大島が日本ジオパークに認定される
平成24年(2012)	箱根火山地域が日本ジオパークに認定される 伊豆半島地域が日本ジオパークに認定される
平成25年(2013)	富士山が世界文化遺産に登録される